

現行計画(新ひょうご男女共同参画プラン 21)の検証状況

【I】 互いに支え合う家庭と地域づくり～“おかげさま”をつなぐ～

アクション1 家族・家庭の育児・介護等を支える

【現在の取り組み】

親子の居場所づくりを支援するため県下各地に「まちの子育てひろば」を設置し、地域ぐるみでの子育て支援を進めるほか、地域における子育て支援サービス・介護支援サービスの充実を図ることにより、地域ぐるみで家庭を支える体制づくりを推進。

○まちの子育てひろば開設数 (H26：2,168 か所) ※H27 目標：2,000 か所

○保育所定員増加人数 (H26：14,753 件) ※H27 目標：10,000 人

【解決すべき課題】

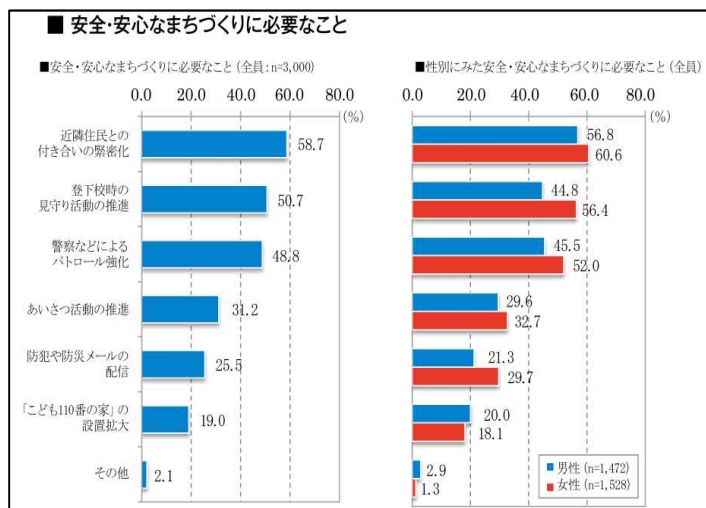
○家族や家庭、地域の絆の強化

(安全・安心なまちづくりに必要なこととして、男女ともに「近隣住民との付き合い緊密化」の回答が最も多数であった)

○保育所や認定こども園の整備をはじめとした子育て支援サービスの一層の充実

(子育てのために充実してほしい支援策として、「保育所の増設・充実」が「出産費用や医療費等の軽減・助成」に次ぎ多数であった)

○介護サービスの一層の充実



備考(2表とも)：兵庫県健康福祉部調べ

アクション2 男女共同参画で進める地域づくり

【現在の取り組み】

地域における男女共同参画社会づくりを推進するため、キーパーソンとして活躍する男女共同参画推進員の活動を支援するほか、自治会長等地域のリーダーへの女性の参画を促すなど、男女共同参画の視点を取り入れた地域づくりを推進。

○自治会長に占める女性割合(H25:6.0%)※H27 目標:7.0%

○男女共同参画推進員(地域)設置数

(H26:174人)※H27 目標:300人

○地域安全まちづくり推進員の委嘱数

(H26:2,124人)※H27 目標:2,500人

■地域活動リーダーの女性割合(兵庫県)

区分	女性割合	女性割合(全国)
自治会長(H26)	6.0%	4.7%
PTA会長(H26) (小中学校単位)	20.4%	11.2%

備考:兵庫県企画県民部調べ

また、県立男女共同参画センターを拠点に、阪神・淡路大震災の経験・教訓を活かした「防災・災害復興の分野における男女共同参画の重要性」を強く意識した活動を展開するなど、男女共同参画の視点に立った取組を推進。

○各種フォーラム・セミナーの開催

(※H26は震災20年事業として「ひょうご女性フォーラム」を開催)

○防災・減災ハンドブック、啓発絵本等の発行

○震災ライブラリーの開設(H24)等

[主な発行物]

H23 母と子の防災・減災ハンドブック

H25 親子で学ぶ防災・減災体験プログラム集

H26 防災・減災絵本「約束のあした」

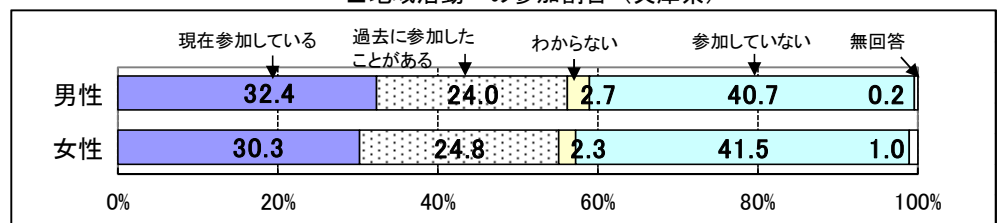
【解決すべき課題】

○地域活動への参加促進(安全・安心なまちづくりに必要なこととして、男女ともに「近隣住民との付き合い緊密化」の回答が最も多数であった)

○地域における女性リーダーの育成(地域活動している人の割合は男女で大きな差はないが、自治会長は20人に1人、PTA会長は5人に1人が女性と、女性リーダーが少ない(全国平均は上回っている))

○地域において個人が男女共同参画について正しい理解を促進するため、引き続き意識啓発に取り組んでいく必要がある。

■地域活動への参加割合(兵庫県)



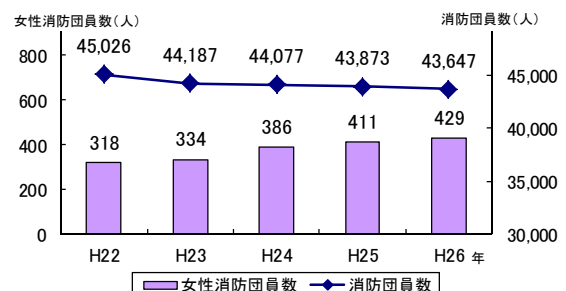
備考:兵庫県「県民意識調査」(平成25年)

○震災からの復旧・復興の経験を踏まえた、男女共同参画の視点を取り入れた防災・災害復興対策を引続き推進していく必要がある。

○防災・減災に関わる方針決定の場(行政、審議会、自治会など)における女性の割合は依然として低い。

○地域を担う防災リーダーあるいは地域防災活動に携わる女性の割合は依然として低い。(消防団員全体に占める女性割合は1%(全国44位))

■消防団員数(兵庫県)



【Ⅱ】 女性たちのチャレンジ支援

アクション3 女性たちのエンパワーメント

【現在の取り組み】

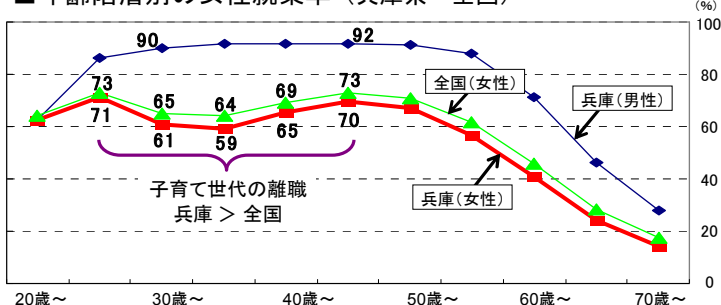
新たな分野への参画やさらなる活躍をめざす女性を支援するため、チャレンジのためのを展開するとともに、女性たちのネットワークづくりや活動支援等を実施。

- 再就業支援セミナー等の年間参加者数(H26:612人)※H27 目標:800人
- ひょうご女性チャレンジひろば 年間相談・情報提供件数(H26:9,066件)※H27 目標:3,100件
- ひょうご女性未来会議会員数(H25:会員数 693人)※H27 目標:800人

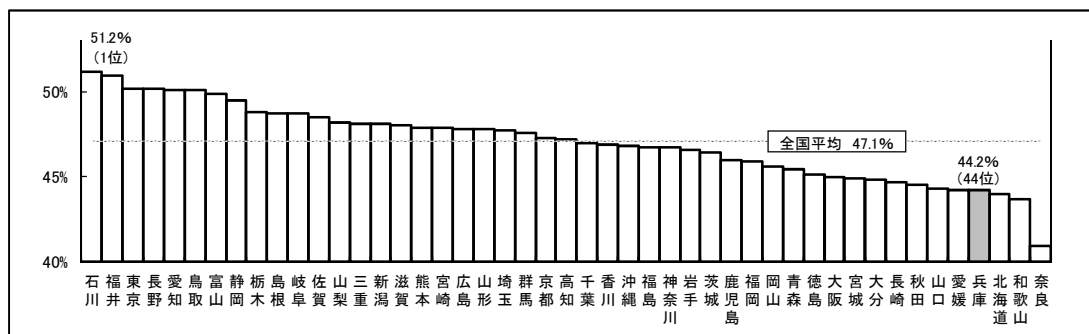
【解決すべき課題】

- 女性就業率の向上(44.2%は全国44位)、「M字カーブ」の緩和
- 就業継続、再就業をしやすい雇用・就業環境の整備

■年齢階層別の女性就業率（兵庫県・全国）



■都道府県別の女性就業率



アクション4 女性たちの社会への参画の拡大

【現在の取り組み】

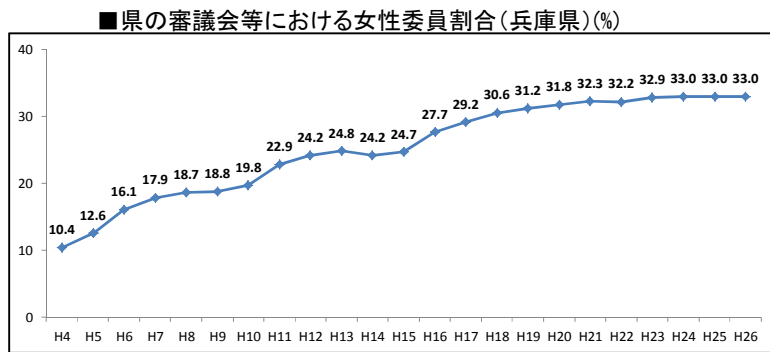
就業と育児・介護を両立する女性が、就業継続しやすいよう、働きやすい職場環境づくりや多様な働き方に対する支援を実施。

また、政策・方針決定過程への女性の参画促進を図るため、県審議会委員等への女性登用促進を図るほか、県自らが男女共同参画のモデル職場を目指し率先して行動するため、「県率先行動計画」を策定し、女性の活躍を促進するための取組を推進。27年度には「ひょうご女性の活躍推進会議」を発足し、社会全体の気運醸成や企業や団体等の意識改革を進めている。

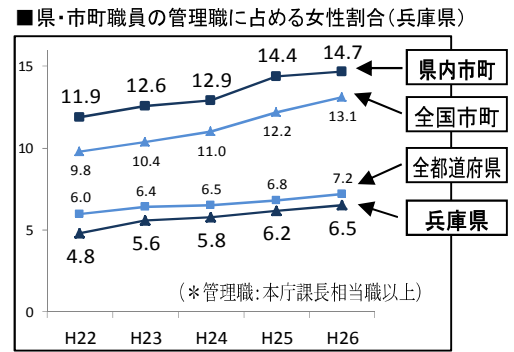
- 県の審議会等委員の女性割合(H26:33.0%)※H27 目標:35.0%

【解決すべき課題】

- 指導的地位に占める女性割合の向上（各分野で割合は上昇しているが全体として依然低い）
- 起業をはじめとする多様な働き方に対する支援
- 非正規雇用者の雇用・就業環境の改善

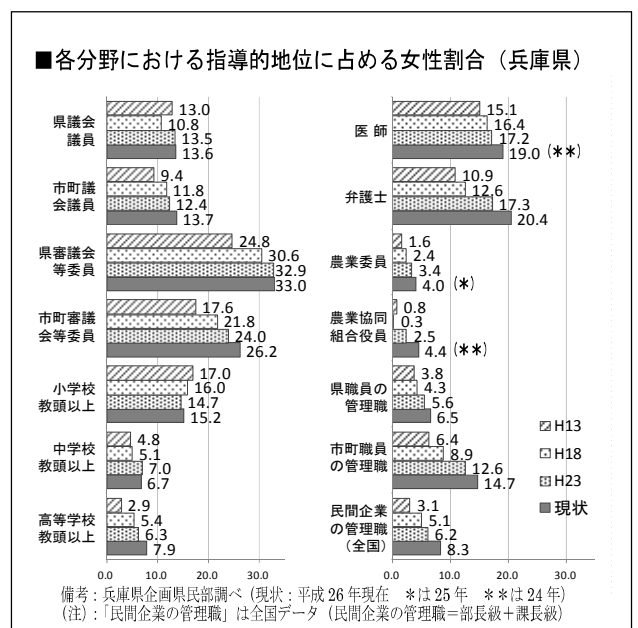
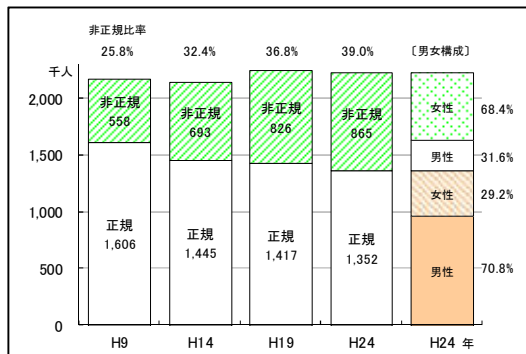


備考：兵庫県企画県民部調べ



備考：兵庫県企画県民部調べ

■ 正規労働者と非正規労働者の推移(兵庫県)



備考：平成22年国勢調査

【Ⅲ】 男女ともの仕事と生活の調和

アクション5 仕事と生活が両立できる職場環境づくり

【現在の取り組み】

ひょうご仕事と生活支援センターを中心にワーク・ライフ・バランスの積極的取り組みを促進するとともに、企業や団体等との子育て応援協定の締結を推進し、子育てと仕事の両立ができる環境を整備を支援。

○ひょうご仕事と生活支援センター事業の推進(普及啓発、相談、研修、実践支援)

・ワンストップ相談件数(H26:1,374件)※H27目標:600件

・中小企業育児休業・介護休業代替要員確保支援事業年間助成件数(H26:116件)※H27目標:100件

・育児・介護等離職者雇用年間助成件数(H26:10件)※H27目標:250件

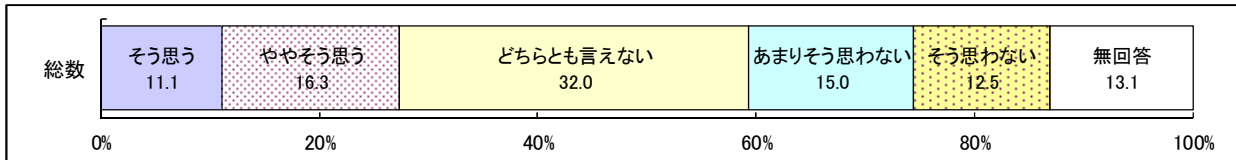
○子育て応援協定締結企業・団体数(H26:1,145社、38団体)※H27目標:1,100社、55団体

【解決すべき課題】

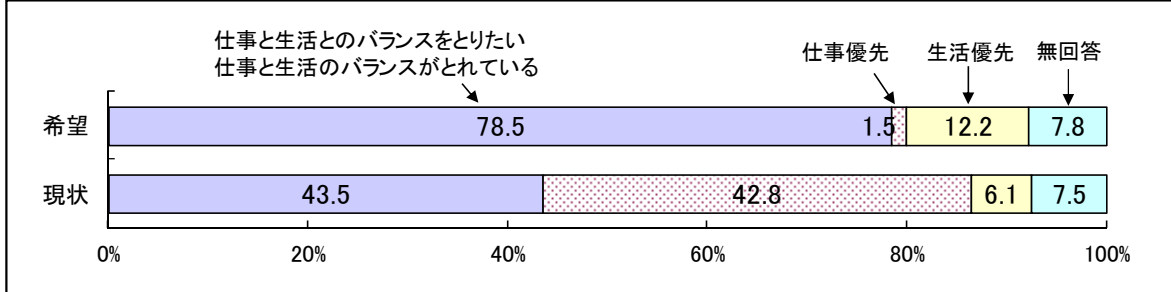
○ワーク・ライフ・バランスの推進

(仕事と生活のバランスをとりたいと希望する者が多いが、そのうち6割程度しか実現していない。また、仕事と生活のバランスの取組が推進されていると認識している事業所は4社に1社程度と少ない)

■仕事と生活のバランスの取組の推進状況（兵庫県）



■仕事と生活のバランスの希望と現状（兵庫県）



備考（2表とも）：（財）兵庫県勤労福祉協会「平成23年度事業所・勤労者の実態

アクション6 農林水産業や商工業等自営業における男女共同参画

【現在の取組み】

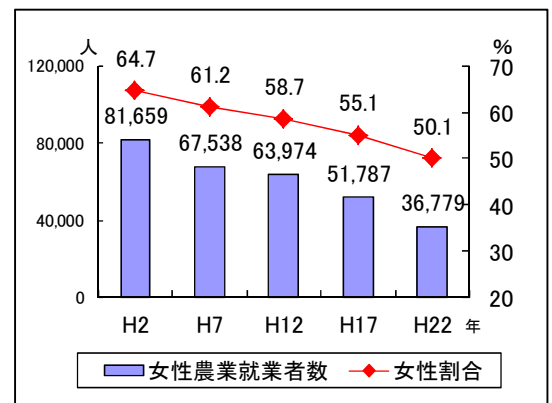
女性農業者等の就業環境の整備支援や起業支援、団体において方針決定過程に関わるリーダーの育成等を支援することにより、農林水産業や商工業等の分野の女性の活躍を支援。

- 女性がない農業委員会数（H26：15市町）※H27目標：0市町
- 女性農業委員の割合（H26：5.2%）※H27目標：5.0%
- 農村女性の起業件数（H24：314件）※H27目標：300件

【解決すべき課題】

- 農林水産業団体・商工会等の事業者団体における女性登用
- 農林水産業・商工業等の自営業者における女性の経営参画・女性の起業、女性リーダーの育成（女性は重要な担い手であるが、方針決定への参画は依然少ない）
- 農林水産業・商工業等の自営業者の就業条件の明確化（家族経営が多く、就業条件が不明確であることが多い）

■農業就業人口に占める女性割合（兵庫県）

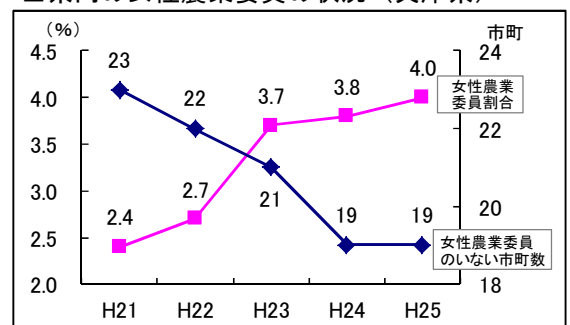


■農業協同組合における女性割合(兵庫県、全国)

	農業協同組合 (うち女性)	女性割合	女性割合 (全国)
正組員数	211,797(51,221)人	24.2%	20.0%
役員数	384 (17) 人	4.4%	5.3%

備考：農林水産省「平成24事業年度総合農協統計表」

■県内の女性農業委員の状況（兵庫県）



アクション7 男性にとっての男女共同参画

【現在の取組み】

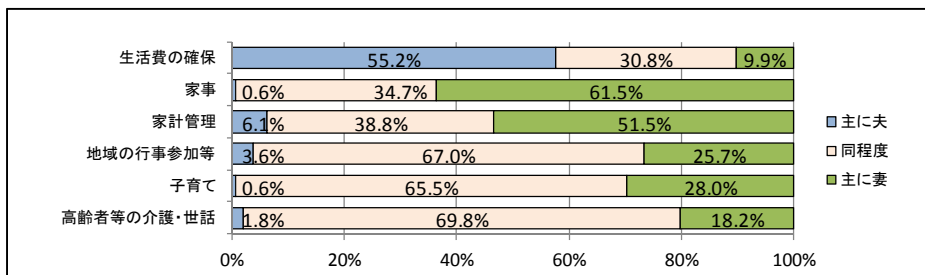
男性向けの育児や家事等日常生活能力向上のための講座の実施や、父親の積極的な育児参加を推進するためのネットワークづくり等により、男性の育児・家事等への参画を推進。

- 「父親の子育て応援セミナー」の開催（H26：5回開催）
- 「お父さん応援フォーラム」の開催（H26：1回開催）

【解決すべき課題】

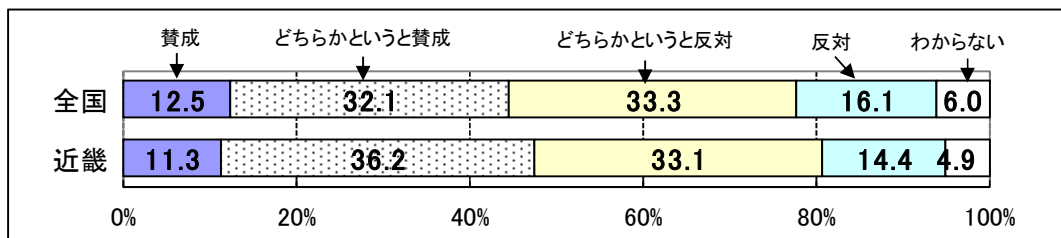
- 男性の家事・育児への参加促進（夫婦がともに協力していくべきとの意識は高まっているが、近畿地域は「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方が全国平均と比べ高くなっている。なお、夫の休日の家事・育児時間が長いほど、第2子以降の生まれる割合が高くなる傾向がある。また、高齢男性（特に独居の）の日常生活自立のため、家事能力の獲得・向上を支援する必要がある）
- 男性の育児休業取得の促進（男性の育児休業取得率(全国)は平成25年度は2.03%と平成21年度との比較で0.3ポイント上昇しているが、女性の取得率83.0%と比較すると極めて低い）

■家庭での役割分担（兵庫県）



備考：兵庫県「県民意識調査」（平成26年）

■性別による役割分担の意識（全国、近畿）



備考：内閣府「女性の活躍推進に関する世論調査」（平成26年）

【IV】 健やかに安心して暮らせる環境の整備

アクション8 生涯にわたる男女の健康づくり

【現在の取組み】

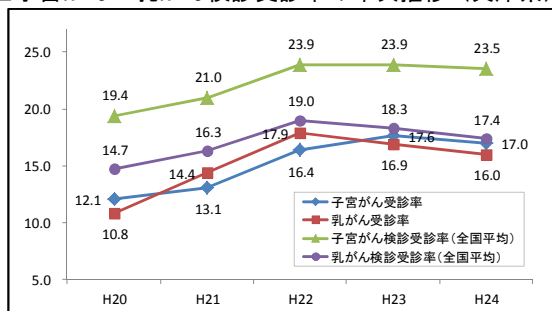
妊娠・出産期を含め生涯を通じた母子保健の支援を推進するとともに、生活習慣病予防としての検診受診の促進、受動喫煙や自殺への対策等、あらゆる場面における健康保持対策を推進。

- 特定不妊治療費助成事業による年間助成件数(H26：3,120件)※H27目標：1,860件
- 「健康マイプラン」県民健康プラン提供者数(H25：2,673千人)※H27目標：2,000千人
- 市町食育推進計画の市町策定数(H25：41市町)※H27目標：41市町(全市町)
- 女性特有のがん検診受診の促進(H26：11件)

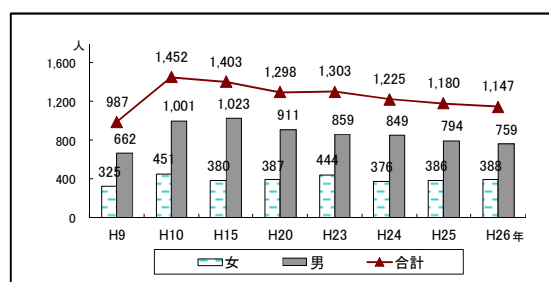
【解決すべき課題】

- 女性特有の子宮がん・乳がん検診の受診率の向上(子宮がん検診の受診率は全国最下位、乳がん検診の受診率も全国35位と低い)
- 自殺対策の強化(自殺者数は近年減少傾向にある。約7割が男性である)

■子宮がん・乳がん検診受診率の年次推移(兵庫県)



■自殺者数の推移(兵庫県)



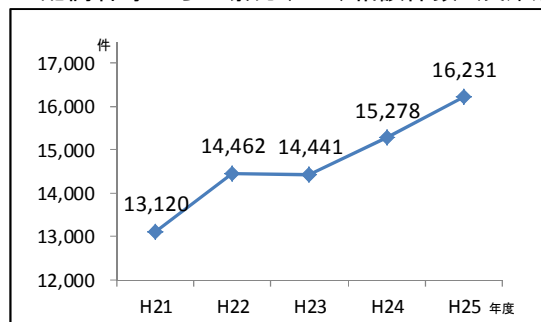
アクション9 暴力根絶と、暮らしのセーフティネット

【現在の取組み】

DVは県・市の配偶者暴力相談支援センター、児童虐待は県・市のこども家庭センターを中心に、暴力の防止を含めた支援を推進。

- 一時保護所の運営・入所被害者支援アドバイザーの配置
- 市町DV基本計画の策定(H26：32市町)
※H27目標：41市町(全市町)
- 市町配偶者暴力相談支援センターの設置(H26：12市町)

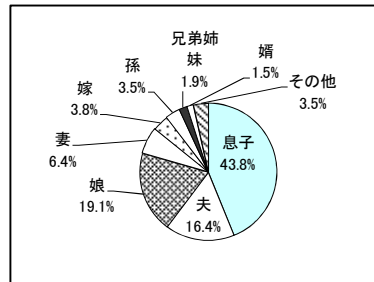
■配偶者等からの暴力(DV)相談件数(兵庫県)



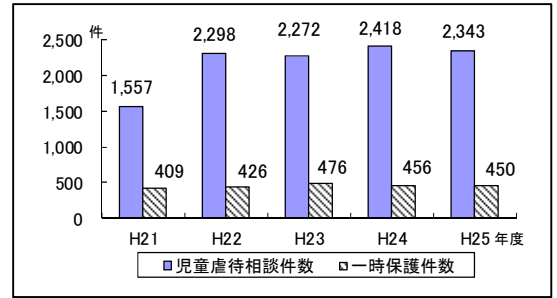
【解決すべき課題】

- DVの防止・被害者支援（DV相談件数は増加）
- 児童虐待の防止（児童虐待相談件数は増加傾向、主な虐待者は7割が実母、2割が実父である）
- 高齢者虐待の防止、介護者の負担軽減（高齢者虐待の対象は、女性が4分の3を占め、虐待者の6割は男性）
- ひとり親家庭への支援（母子家庭・父子家庭は増加しており、経済的な問題に加え母子家庭においては保育の確保、父子家庭においては子どもの養育や家事に問題を抱えていることが多い）

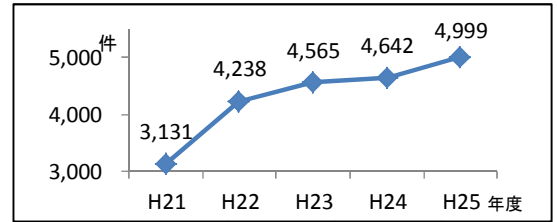
■高齢者への虐待者の状況（兵庫県）



■子ども家庭センターにおける児童虐待相談受付件数（兵庫県）



■県内市町における児童虐待相談受付件数（兵庫県）



■高齢者の被虐待者の状況（兵庫県）

	男性	女性	合計
人数	191人	624人	815人
割合	23.4%	76.6%	—

アクション10 誰もが安心して暮らせるユニバーサル社会づくり

【現在の取組み】

「ひょうごユニバーサル社会づくり総合指針」に基づき、「ひと・もの・情報・まち・参加」の多様な視点から、ユニバーサル社会づくりに向けた取組みを幅広く実施。

- ユニバーサル社会づくりひょうご推進会議の運営（H26：461 会員）
- みんなの声かけ運動の実施（H26：登録人数 4,586 名）

【解決すべき課題】

- 男女とも的高齢者の生きがいづくり、生活支援、社会参画の推進
- 障害者、外国人等が性別に関わりなく快適に暮らせるしくみづくり
- 性別、国籍、障害等（あるいは複合的）による人権侵害等への対策
- 性的マイノリティ等生きづらさを抱える人に対する理解促進

【V】 次世代への継承

アクション11 若者たちの就労と出会いの支援

【現在の取組み】

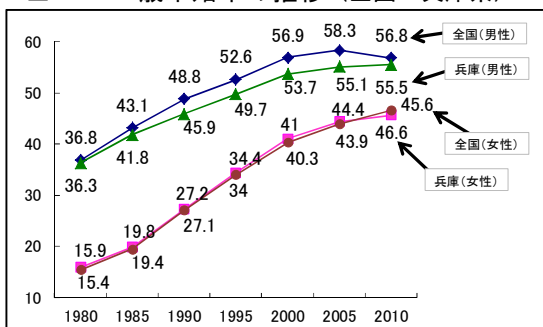
若者たちの就労を支援するため、ワンストップで支援を行う「若者しごと倶楽部」の展開や、出会い促進のための「ひょうご出会いサポートセンター」事業の推進、若者の居場所づくりのための「若者ゆうゆう広場」の活動支援等、様々な展開により、社会全体での若者の自立支援を推進。

- 若者しごと倶楽部の就職支援による年間就職人数（H26：1,806人）※H27目標：1,250人
- 出会いサポートセンター等出会いイベント年間開催数（H26：464回）※H27目標：250回

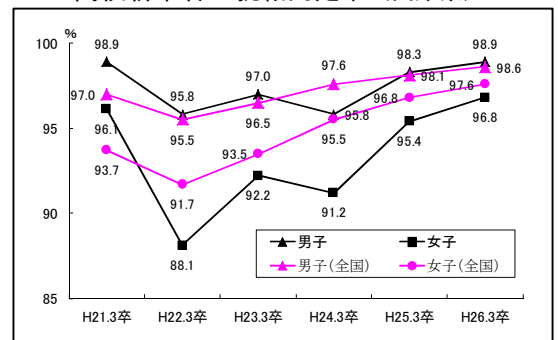
【解決すべき課題】

- 若者たちの就労環境の整備、交流や仲間作りへの支援
- 出会い・適切な交際への支援

■25～34歳未婚率の推移（全国・兵庫県）

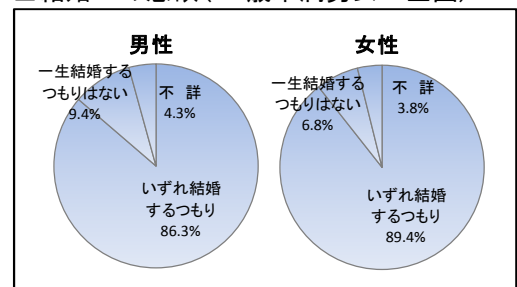


■高校新卒者の就職内定率（兵庫県）



備考：厚生労働省、文部科学省共同調査

■結婚への意欲（35歳未満男女・全国）



(H22 出生動向基本調査)

アクション12 多様な選択を可能にする、子どもの教育・学習

【現在の取組み】

学校教育を中心に子どもたちへの人権・男女共同参画の教育推進に努めるとともに、学校教職員への理解促進や学校現場における女性の登用促進等を図り、子どもたちへの教育・学習に取り組んでいる。

- 神出学園・山の学校の本コース修了者数及び学外者支援プログラム体験者数（H26までの累計数：3,097人）※H27目標：3,400人

【解決すべき課題】

- 児童生徒の発達段階に応じた適切な指導（ひきこもり・不登校対策を含む）
- 効果的な教育の推進